

I 第48週の発生動向 (2008/11/24~2008/11/30)

インフルエンザについては、上十三保健所、むつ保健所、青森市保健所管内から、患者報告がありました。

II 第48週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方・青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 <small>(前週からの増減)</small>	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数					
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点
(85) インフルエンザ	1	0.07							2	0.22	1	0.17	4	0.06	-8			1	0.08						
(74) RSウイルス感染症	10	1.11	11	1.22	2	0.22	7	1.40	7	1.17			37	0.88	-14			10	1.25						
(75) 咽頭結膜熱			1	0.11							1	0.25	2	0.05	-1										
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	3.33	16	1.78	1	0.11	7	1.40	4	0.67	1	0.25	59	1.40	1	3	3.00	27	3.38						
(77) 感染性胃腸炎	35	3.89	7	0.78	13	1.44	10	2.00	8	1.33	13	3.25	86	2.05	3	15	15.00	20	2.50						
(78) 水痘	24	2.67	14	1.56	4	0.44	14	2.80	3	0.50	4	1.00	63	1.50	8			24	3.00						
(79) 手足口病			8	0.89	3	0.33			17	2.83	4	1.00	32	0.76	8										
(80) 伝染性紅斑			2	0.22							1	0.25	3	0.07	1										
(81) 突発性発しん	8	0.89	4	0.44	1	0.11	1	0.20			3	0.75	17	0.40	-5			8	1.00						
(82) 百日咳			1	0.11									1	0.02	1										
(72) 風しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																								
(83) ヘルパンギーナ															-3										
(73) 麻疹	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																								
(84) 流行性耳下腺炎	6	0.67	2	0.22			1	0.20					9	0.21	-6			6	0.75						
(86) 急性出血性結膜炎															0										
(87) 流行性角結膜炎	3	1.50	1	0.33			2	2.00					6	0.55	0			3	1.50						
(95) マイコプラズマ肺炎			3	3.00	2	2.00					1	1.00	6	1.00	-14										

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」:患者発生数0

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注:届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前1人、上十三1人、東地方1人

(20年計:436人)

感染症の惑

インフルエンザ

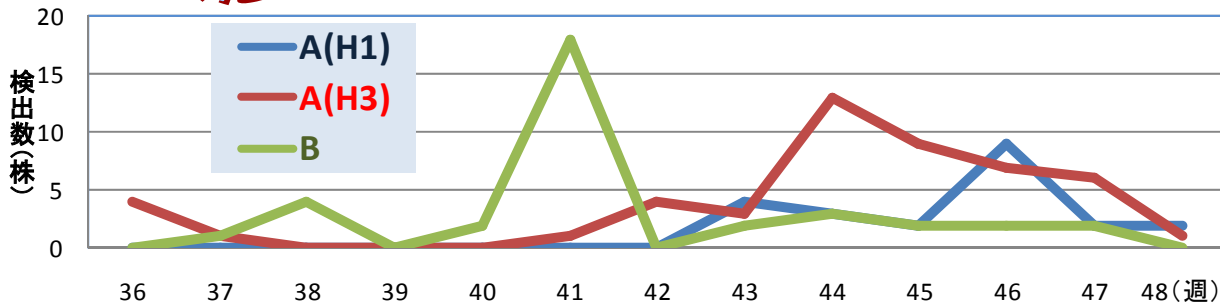


図 2007-2008年インフルエンザウイルス分離・検出報告数(全国) 国立感染症研究所 2008/12/2 速報値

12月1日、長野県、千葉県においてインフルエンザによる学校閉鎖及び学級閉鎖措置が行われたことが報道され、国立感染症研究所では、患者報告数がこの時期としては、最も早かった昨年に次いで2番目に多くなっていることを発表しました。今シーズンのウイルス検出情報では、AH3型が最も多く49株、ついでB型が36株、AH1型が22株検出されています(図)。青森県では、前週に今シーズン初めて、上十三保健所管内から12人(A型:2人、B型:9人、不明:1人)の患者報告がありました。今週、減少はしましたが、4人の報告がありました(A型:2人、B型:1人、不明:1人)(いずれも迅速診断キットによる型別)。インフルエンザは、発熱、咽頭痛、咳などの症状が出現し、感染力が強いことから、厚生労働省は、今年度の標語として「あ、その咳、そのくしゃみ~咳エチケットしてますか?~」を掲げました。予防には、うがいやマスクの着用があり、鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨て、咳をするときには、他人から顔を背けるなどの注意が必要です。ワクチン接種については、最寄りの医療機関、医師に相談しましょう。

関連情報: 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)

今年度の標語 <あ、その咳、そのくしゃみ~咳エチケットしてますか?~> <http://www.nhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kaenshou01/index.html>

インフルエンザワクチン予防接種実施医療機関情報(保健衛生課): [http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu\\_shot.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/flu_shot.html)